

～青木村地域自然エネルギー研究協議会 経過報告③

～青木村自然エネルギー

ハイブリッド発電システム実証実験場～

「エネ空あおきタワー」完成!!



国の地方創生に係る、地方創生加速化交付金（45,000千円）と地方創生推進交付金（5,000千円）を活用して、村内企業・商工会・大学・金融機関・役場などが連携し、平成28年4月に「青木村地域自然エネルギー研究協議会」を立ち上げ、太陽光発電・風力発電・小水力発電を組合せた、ハイブリッド発電システムの企画・開発・試作機の製造を進めてきましたが、平成29年2月16日、道の駅あおき内に、第1号試作機の展示場と実証実験場を兼ねた、「青木村自然エネルギーハイブリッド発電システム実証実験場（愛称：エネ空あおきタワー）」が完成し、試運転を開始しました。施設の愛称は、公募にて募集をし、応募総数55作品の中から、「エネ空あおきタワー」に決定しました。愛称「エネ空あおきタワー」は、東京都世田谷区の保岡直樹さんの作品を参考にネーミングされ、空に由来する太陽と風から発電を行い、空は青色を連想することから、空の青を青木村に見立て、エネルギーを空からもらう、青木村の先進的な施設であるという意味が込められています。今後はこの「エネ空あおきタワー」を愛称として、自然エネルギー発電システムの実証実験、仕組みなどを学べる場として、みなさまに親しまれる施設として活用を進めていきます。



テープカット



膨大な実証実験データを管理する制御基盤

